

浄化槽放流水地下浸透事前協議書

年 月 日

環境保全室長
殿
保健所長

設置者の住 所

氏 名

⑩

電話番号

浄化槽の放流水を地下浸透したいので、「放流先がない場合の浄化槽放流水の地下浸透方式による処理に係るガイドライン」第7条の規定に基づき協議します。

設置者	住 所	
	氏 名	
設置場所		
工事予定期間		着工 年 月 日 竣工 年 月 日
浄化槽等工事 予定業者		事業所名 電 話 登録番号
添 付 書 類	<ul style="list-style-type: none"> ① 設置場所の位置図（別添） ② 設置場所付近の平面図（別添） ③ 設置予定地等調査報告書（別添） ④ 設置場所付近の状況がわかるカラー写真（別添） ⑤ 浄化槽の規模、構造及び性能（別添） ⑥ 浄化槽、土壤浸透装置の設置場所を示す平面図（別添） ⑦ 土壤浸透装置の設置地点の土質が確認できる資料 （ボーリング調査等の結果がわかるもの）（別添） ⑧ 浸透土壤の透水試験の結果が分かる書類（別添） （既設土壤浸透装置は、現地確認の状況写真等結果が分かる書類）（別添） ⑨ 土壤浸透装置の全体平面図（別添） ⑩ 土壤浸透装置の構造図（別添） ⑪ 土壤浸透装置等維持管理に関する誓約書（別添） 	

設置予定地等調査報告書

年 月 日

環境保全室長
殿
保健所長

設置者の住 所

氏 名

Ⓜ

電話番号

浄化槽の放流水を地下浸透するにあたり、地下浸透を予定している土地について調査した結果は、下記のとおりであり、「放流先がない場合の浄化槽放流水の地下浸透方式による処理に係るガイドライン」第5条に定める地下浸透可能な土地の条件をすべて満たしていることを報告します。

なお、本申請日以降に当該条件が満たされない状況が発見された場合には、自己の責任を持って、浄化槽の放流水の地下浸透の中止等の措置を行います。

記

調 査 項 目	調 査 結 果
土地の傾斜は16度以下で、地すべりのおそれがない	
急傾斜地崩壊危険区域や地すべり防止区域でない	
盛土地盤においては、盛土後1年以上経過している	
水平距離の半径30m以内に飲用井戸等の水源がない (調査結果(別紙)と住宅地図に半径30mの円を描き図示したものを添付)	井 戸 有・無 飲用井戸等 有・無
地下水位は、年間平均で 地表面下約1.5m以深にある	
土壤浸透装置の底面下約2mの土壤は適度な透水性を持った土質であり、放流水が地下の水脈に短絡する土質でない	
土壤の浸透速度は 毎分0.042~2.4cmである (既存土壤浸透装置の浸透速度は毎分12.6L以上である)	
日照、通風が良好であり、雨水等が流入するおそれがない	
人、車等の通行等により、踏み固められるおそれがない	
隣地境界及び建築物までの距離は、土壤浸透装置の両端からそれぞれ1.5m以上確保できる	

土壌浸透装置の維持管理に関する誓約書

年 月 日

環境保全室長
殿
保健所長

設置者の住 所
氏 名
電話番号

㊞

私は、浄化槽放流水を地下浸透するにあたり、下記事項の管理等を徹底するとともに、維持管理に起因して付近に公衆衛生上の支障が生じた場合には、速やかに改善等の対応を行うことを誓約いたします。

記

- 1 浄化槽及び地下浸透に係る装置、設備等についての日常的な使用方法は、十分理解し、遵守いたします。
- 2 浄化槽等の維持管理は、浄化槽法に基づく保守点検、清掃及び法定検査を適正に行います。
- 3 土壌浸透装置の目詰まり等により浸透能力が低下した場合又は浄化槽の放流水が地表等に浸出した場合は、土壌浸透装置の清掃、砂利、砂等の交換その他必要な措置を講じます。
- 4 下水道へ接続することが可能になった場合は、速やかに浄化槽を廃止し下水道に接続します。また、排水路の整備により、排水の放流先が確保された場合は、速やかに土壌浸透装置を廃止し、排水路等に放流します。
- 5 本物件を居住用以外に用途変更しないなど、地下浸透が可能である条件を十分理解し、遵守いたします。
- 6 本物件の維持管理上の地位に変動があった場合には、これを承継する者に対し、本誓約に係る義務についても承継させます。

土壤浸透装置の維持管理に関する誓約書

年 月 日

環境保全室長
殿
保健所長

設置者の住 所
氏 名
電話番号

㊞

私は、浄化槽放流水を地下浸透するにあたり、下記事項の管理等を徹底するとともに、維持管理に起因して付近に公衆衛生上の支障が生じた場合には、速やかに改善等の対応を行うことを誓約いたします。

記

- 1 浄化槽及び地下浸透に係る装置、設備等についての日常的な使用方法は、十分理解し、遵守いたします。
- 2 浄化槽等の維持管理は、浄化槽法に基づく保守点検、清掃、法定検査及び全窒素の測定を適正に行います。
- 3 土壤浸透装置の目詰まり等により浸透能力が低下した場合又は浄化槽の放流水が地表等に浸出した場合は、土壤浸透装置の清掃、砂利、砂等の交換その他必要な措置を講じます。
- 4 下水道へ接続することが可能になった場合は、速やかに浄化槽を廃止し下水道に接続します。また、排水路の整備により、排水の放流先が確保された場合は、速やかに土壤浸透装置を廃止し、排水路等に放流します。
- 5 本物件を居住用以外に用途変更しないなど、地下浸透が可能である条件を十分理解し、遵守いたします。
- 6 本物件の維持管理上の地位に変動があった場合には、これを承継する者に対し、本誓約に係る義務についても承継させます。

事前協議確認書

住 所
氏 名

年 月 日付けで申請のあった浄化槽放流水地下浸透事前協議書について、「放流先がない場合の浄化槽放流水の地下浸透方式による処理に係るガイドライン」に基づき審査した結果、同ガイドラインに適合することが認められたので、下記事項の遵守を条件として、本確認書を交付します。

年 月 日

__長 印

記

- 「放流先がない場合の浄化槽放流水の地下浸透方式による処理に係るガイドライン」を遵守し、浄化槽及び地下浸透に係る装置、設備等についての日常的な使用方法については、十分理解し、適正な維持管理に努めること。
- 浄化槽等の維持管理は、浄化槽法に基づく保守点検、清掃及び法定検査を適正に行うこと。
- 土壌浸透装置の目詰まり等により浸透能力が低下した場合又は浄化槽の放流水が地表等に浸出した場合は、土壌浸透装置の清掃、砂利、砂等の交換その他必要な措置を講ずること。
- 下水道へ接続することが可能になった場合は、速やかに浄化槽を廃止し下水道に接続すること。また、排水路の整備により、排水の放流先が確保された場合は、速やかに土壌浸透装置を廃止し、排水路等の放流すること。
- 本物件を居住用以外に用途変更しないなど、地下浸透が可能である条件を十分理解し、遵守すること。

浄化槽の設置場所	
浸透の場所	
浄化槽型式	

事前協議確認書

住 所
氏 名

年 月 日付けで申請のあった浄化槽放流水地下浸透事前協議書について、「放流先がない場合の浄化槽放流水の地下浸透方式による処理に係るガイドライン」に基づき審査した結果、同ガイドラインに適合することが認められたので、下記事項の遵守を条件として、本確認書を交付します。

年 月 日

____長 印

記

- 「放流先がない場合の浄化槽放流水の地下浸透方式による処理に係るガイドライン」を遵守し、浄化槽及び地下浸透に係る装置、設備等についての日常的な使用方法については、十分理解し、適正な維持管理に努めること。
- 浄化槽等の維持管理は、浄化槽法に基づく保守点検、清掃、法定検査及び全窒素の測定を適正に行うこと。
- 土壌浸透装置の目詰まり等により浸透能力が低下した場合又は浄化槽の放流水が地表等に浸出した場合は、土壌浸透装置の清掃、砂利、砂等の交換その他必要な措置を講じること。
- 下水道へ接続することが可能になった場合は、速やかに浄化槽を廃止し下水道に接続すること。また、排水路の整備により、排水の放流先が確保された場合は、速やかに土壌浸透装置を廃止し、排水路等の放流すること。
- 本物件を居住用以外に用途変更しないなど、地下浸透が可能である条件を十分理解し、遵守すること。

浄化槽の設置場所	
浸透の場所	
浄化槽型式	

事前協議通知書

住 所
氏 名

年 月 日付けで申請のあった浄化槽放流水地下浸透事前協議書について、「放流先がない場合の浄化槽放流水の地下浸透方式による処理に係るガイドライン」に基づき審査した結果、下記の場所に地下浸透することは適さないと判断します。

年 月 日

__長 印

記

設置場所

浄化槽放流水地下浸透協議書（市町村長あて）

年 月 日

市町村長 殿

設置者の住 所

氏 名

⑩

電話番号

浄化槽の放流水を地下浸透したいので、「放流先がない場合の浄化槽放流水の地下浸透方式による処理に係るガイドライン」第8条の規定に基づき協議します。

設 置 者	住 所	
	氏 名	
設置場所		
工事予定期間	着工 年 月 日	竣工 年 月 日
浄化槽等工事 予定業者	事業所名 電 話 登録番号	
添 付 書 類	① 設置場所の位置図（別添） ② 設置場所付近の平面図（別添） ③ 設置予定地等調査報告書（別添） ④ 設置場所付近の状況がわかるカラー写真（別添） ⑤ 浄化槽の規模、構造及び性能（別添） ⑥ 浄化槽、土壤浸透装置の設置場所を示す平面図（別添） ⑦ 土壤浸透装置の設置地点の土質が確認できる資料 （ボーリング調査等の結果がわかるもの）（別添） ⑧ 浸透土壤の透水試験の結果が分かる書類（別添） （既設土壤浸透装置は、現地確認の状況写真等結果が分かる書類）（別添） ⑨ 土壤浸透装置の全体平面図（別添） ⑩ 土壤浸透装置の構造図（別添） ⑪ 土壤浸透装置等維持管理に関する誓約書（別添）	

浸透速度測定結果書

調査地名						
浸透試験年月日						
試験実施機関 ・事業所名 ・担当者名 ・連絡先						
試験孔番号	試験孔の 深さ (cm)	浸透速度 (cm/分)				備考
		1回目	2回目	3回目	平均	
平均						

浸透速度測定結果書

調 査 地 名				
浸透試験年月日				
試験実施機関 ・事業所名 ・担当者名 ・連絡先				
浸 透 速 度 (L/分)				備 考
1 回 目	2 回 目	3 回 目	平 均	

地下浸透方式による浄化槽を
設置しようとする区域の市町村の意見書

設置場所

総括的意見

今回の地下浸透方式による浄化槽設置に係る意見は、上記のとおりです。

年 月 日

市町村長 印

水質測定結果報告書

年 月 日

環境保全室長
殿
保健所長

(浄化槽管理者)

住 所

氏 名

電話番号

印

私が「放流先がない場合の浄化槽放流水の地下浸透方式による処理に係るガイドライン」第4条第2項の規定により使用している既存浄化槽について、水質測定結果を報告します。

浄化槽の設置場所		
採水年月日		
測定結果 (mg/L)	BOD	全窒素

(備考)

- 1 BODの数値は、当該年度に受検した浄化槽法第11条第1項に基づく水質検査の結果を記載すること。
- 2 全窒素の測定は、「排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法（昭和49年9月30日環境庁告示第64号）」の窒素含有量の検定方法に基づき行い、測定結果の写しを添付すること。